

おかげさまで80周年

80th

Anniversary

地域の安全・安心を目指して

昭和12年(1937)魚野川で直轄砂防事業スタート

湯沢砂防だより

No.26

平成30年1月30日

国土交通省 湯沢砂防事務所

新粗石コンクリートの 施工現場を見学しました！！

1月26日(金)に湯沢砂防事務所管内の中津川床固工群第10号床固工その3工事で、新粗石コンクリートの見学会を行いました。

新粗石コンクリート工法とは、現地発生土砂から粒径処理した粗石を型枠内に投入し、高流動コンクリートを流し込んで砂防構造物を造る工法です。

今回は、コンクリートのスランプフロー試験の実演や、実際の打設現場の見学をしました。事務所の若手中心に参加し、とてもいい刺激になったと思います。

今後も現地発生材の有効利用などのコスト削減に取り組み、安全性の確保と、建設現場の生産性向上に取り組んでいきたいと考えています。



コンクリートのスランプフロー試験

固まる前のコンクリートの流動性を調べる試験。

スランプコーンと呼ばれる試験用の入れ物に、生コンクリートを入れ、引き上げ、フロー(広がり)を測定し、流動性を確認するものです。

○新粗石コンクリートの利点

- ・資源リサイクルによる環境への負荷の軽減
- ・施工性の向上、工期の短縮
- ・建設コストの縮減
- ・省力化、安全施工



新粗石コンクリート工法

